部会特集
先史部会

向郷遺跡出土 竹内勇貴氏寄贈資料の整理と調査

先史部会では、砂川地域で出土した石器や向郷遺跡の竹内勇貴氏寄贈資料（以下、「竹内資料」と表記）、古墳と考えられている塚など、立川・砂川地域で発見された旧石器時代から古墳時代までの考古資料を整理し、文字がない時代の歴史の調査を進めています。今回ご紹介する竹内資料は、縄文時代中期中葉（約5,000年前）の良好な一括資料であり、調査を進めた結果、多摩地域の典型的な資料として位置づけられることが明らかになりました。調査の成果は今年度末に報告書として刊行し、今後刊行される資料編・通史編の基礎資料として市民の皆様に広く公開いたします。

1．竹内資料とは

竹内資料は、竹内勇貴氏が向郷遺跡で発掘した資料です。竹内氏が小・中学生だった昭和45～52（1970～77）年頃に発掘したものを、昭和57（1982）年に、市の文化財教育に役立てて欲しいと立川市へ寄贈されました。

竹内少年は、遺物を丁寧に洗浄して分類するだけなく、ポスターカラーなどで発掘したと思われる日付や場所、竪穴住居跡のような遺構の種類などを、土器や石器の細かい破片にまで書き込んでいました。土器の接合も行っており、なかには石膏によって補強したり復元したりすることもありました。

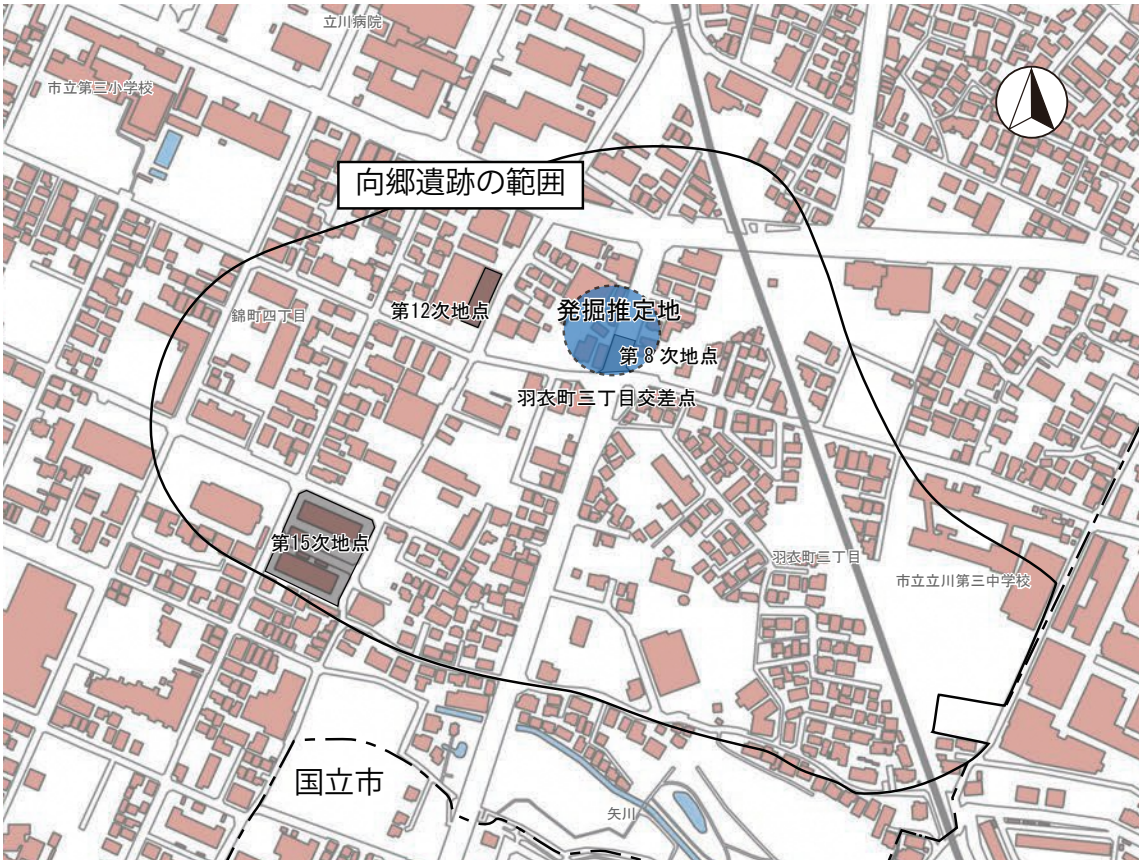
このように竹内少年は考古学上の基本的な整理方法を用いて遺物を整理しており、とても小・中学生が独力で行ったとは思えないほどです（本誌第３号「資料をよむ」参照）。

2．向郷遺跡とは

竹内少年が発掘した向郷遺跡は、錦町四丁目・羽衣町三丁目の一帯に分布する縄文縄代中期（約5,500～4,500年前）の大規模な遺跡です。東西約600m、南北約400mという広大な範囲であり、これまでに110次近い発掘調査が行われてきました。

なかでも立川崖線沿いに位置する第15次地点（市営住宅地点）は、縄文時代中期後葉（加曽利（かそり）Ｅ式期・約4,500年前）の環状集落が発見されたことで有名です。また、第12次地点（たましん事務センター地点）は、中期中葉（勝坂（かつさか）式期）の集落で、数多くの優良土器が出土しました。

3．どこで発掘したのか



竹内少年が発掘したと推定される場所

本誌第３号で竹内資料を紹介したときは、竹内少年は羽衣町三丁目交差点の東南付近で発掘したと推定していましたが、その後、新たな資料が見つかり、交差点の北側を中心に発掘したことがわかりました。この発掘推定地は、向郷遺跡全体のなかでは北側に位置しています（左図参照）。

竹内少年によれば、発掘推定

地には竪穴住居跡があったようです。この場所は第8次地点と第12次地点に挟まれており、どちらの地点でも勝坂式期の竪穴住居跡と土器が発見されています。竹内少年が発掘した資料は勝坂式土器が主体を占めており、双方の地点と共通します。

このことから向郷遺跡では、北側に勝坂式期（約5,000年前）の集落が営まれ、加曽利E式期（約4,500年前）になると南側の立川崖線寄りに移ったことになります。

4．どんなことがわかったのか

竹内資料の土器型式からは勝坂式期という年代だけでなく、土器を作り使った縄文人たちの活動もわかります。

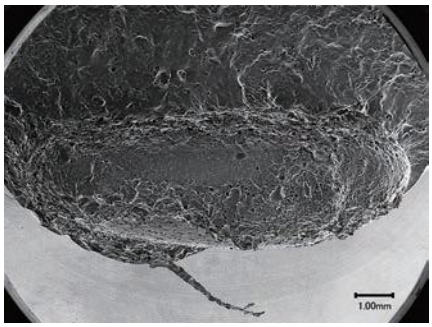
向郷遺跡のそばを流れる矢川の下流約1.5kmには、国立市南養寺（なんようじ）遺跡があります。竹内資料と南養寺遺跡の土器型式を調べたところ、南養寺遺跡の方が竹内資料よりもいくぶん古いことから、矢川流域を同じ生活領域とする集団が、南養寺集落から向郷集落の竹内少年の発掘推定地に移ってきた可能性が浮かび上がります。

また、竹内資料の土器は、大部分は地元の土器ですが、山梨・長野方面の土器や茨城方面の土器が少ないながら含まれており、遠い地域と文化交流を行っていたことがわかります。このことは、これらの土器に、それぞれの地域に特有の鉱物が含まれていたことからわかりました。

さらに、向郷遺跡に住んでいた縄文人はさまざまな植物を利用していたことが、土器に付着した植物種実の痕跡からわかりました。種実の痕跡に医療用シリコンを注入して型（レプリカ）を作成して電子顕微鏡で観察したところ、ダイズやエゴマの種実などが含まれていたのです。

ダイズやアズキは縄文時代中期に大型化が進み、栽培が行われていた可能性が指摘されています。向郷遺跡に住んでいた縄文人も、ダイズなどを栽培していたかもしれません。

竹内資料の土器集合写真（立川市歴史民俗資料館所蔵）



竹内資料の土器から採取された種実圧痕レプリカ（ダイズ属）の電子顕微鏡写真
（撮影：株式会社パレオ・ラボ）

地図注　向郷遺跡の背景地図は、「国土地理院基盤地図情報・立川（国土基本情報）」を使用し、QGIS2.18（QGIS Development Team 2016-2018）を使用して描画した。向郷遺跡の範囲および調査位置等の基礎データは、立川市歴史民俗資料館より提供。